

事業報告書

1 支援団体名	ななせ交流会								
2 事業名称	川といっしょに in のつはる								
3 実施日時	平成25年6月～平成25年3月								
4 実施場所	大分ダム「ななせ館」裏河川敷								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内様) 毎月1回定例会を持っている。活動の本拠地の会場となる河川敷を毎月1回会員で草刈り整備を行なっている。</p> <p>今年は河川の工事が重機などが入り河川敷のようすが代わったけれど安心して川に近付けるように整備した。9月に菜の花を植えて黄色の絨毯が生まれた。花火大会については地域の学校を通じてチラシを配布して、又新聞の折り込み、幼稚園、保育園がいっしょになった「子ども園」には夏まつりの保護者が参加している所で参加を呼び掛けた。当日は例年のように午後6時から「お楽しみ会」で市内で活躍中のコーラスグループの川に関する歌の「ミニライブ」その後大人気の[ストーンアート]でお絵かきを楽しんだ。夕方になり河川敷が見物の人でいっぱいになった。</p> <p>B. B. Q大会では昔ながらの火起しに挑戦、ファミリーの絆を深めた。「川歩き」では源流から下流まで、途中ダム工事現場も視察した。10ヶ所から採取した河川の水質検査をして清流七瀬川を確信した。地域のイベントに参加して会をアピールした。「ななせ川を歩こう」以来、参加した地域婦人達が交流会のサポーターに登録してくれた。先進地交流では自治区ぐるみで構成されている長崎諫早の「本明川交流会」と交流した。直方水辺館に「菜の花染」の教室を見学に行き会での取組みを検討した。来年に備え今年は会員で試してみる準備をしている。下流域から交流の申し出があり意見交換が出来た。子ども園では石ころアート教室を恒例に開く事になった。また各回ごと「ウエス」を配り水質保全を呼び掛けた。</p> <p>3年目を経過して各企画に多くの人参加があり「ななせ交流会」が住民の間にその存在が広がってきた実感がある。花火も多世代の人に喜んでもらえた。ダムの水源地であることから自然の保全にはますます力を入れなければと認識を新にした。地域住民も保全の意識に気づくきっかけとなった。広報の仕方でも多くの人参加してもらえるとおもう。</p>								
6 参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">約280名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td style="text-align: right;">32名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">250名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">0名</td> </tr> </table>	総人数	約280名	(1) 主催者参加	32名	(2) 日本人参加((1)を除く)	250名	(3) 外国人参加((1)を除く)	0名
総人数	約280名								
(1) 主催者参加	32名								
(2) 日本人参加((1)を除く)	250名								
(3) 外国人参加((1)を除く)	0名								
7 今後の方針	毎月1回定例会、河川敷の整備を続ける。会員の資格取得や専門的知識の向上に努める。次世代の子供たちを中心に川の自然環境保全を守る。先進地との交流を進める。多世代で七瀬川原で花火大会を楽しむ。など								

毎月の河川敷整備作業



ホタル生育勉強会「ホタルの卵だよ」



B. B. Q大会、昔々の「火おこし」に挑戦



さあ、たくさん食べて



「変わる七瀬川を歩こう」ダム湖の底仮排水路見学



花火の前のお楽しみ会「川の歌ミニコンサート」

